

大阪選出国會議員へ面談申し入れ

10議員が面談に応じる

協会は、「現行の健康保険証を残してください」請願署名に取り組みとともに、国会閉会中の7月19日、大阪選出国會議員40人に面談の申し入れを送付した。

自民(太田房江氏、柳本顕氏)、維新(浅田均氏、伊東信久氏、馬場伸幸氏)、立民(森山浩行氏)、共産(山下芳生氏、宮本岳志氏)、れいわ(大石晃子氏)、社民(大椿裕子氏)計10人の国會議員から返信があり、柳本、森山、山下、宮

「保険証廃止」の凍結を求める大阪選出国會議員への懇談申し入れに対する回答

	政党	衆・参	懇談	主旨への賛同
太田房江氏	自民	参院	面談できない	—
柳本 顕氏	自民	衆院	応じる	どちらとも言えない
浅田 均氏	維新	参院	面談できない	どちらとも言えない
伊東信久氏	維新	衆院	面談できない	賛同できない
馬場伸幸氏	維新	衆院	面談できない	—
森山浩行氏	立民	衆院	応じる	賛同する
宮本岳志氏	共産	衆院	応じる	賛同する
山下芳生氏	共産	参院	応じる	賛同する
大石晃子氏	れいわ	衆院	応じる	賛同する
大椿裕子氏	社民	参院	応じる	賛同する

本、大石、大椿各氏から「面談に応じるとの回答を」との返信が一通り。(関連3面)

8月7日 柳本顕衆院議員と面談

来秋廃止「柔軟であるべき」

8月7日、小澤理事局長と事務局は大阪市内で自民党・柳本顕衆院議員と面談した。「保険証廃止の凍結を求める」主旨で協会が申し入れ、柳本議員が応じた。

柳本議員は、「場の混乱を最小限にするため、2024年秋の廃止については柔軟であるべき。あまりにもゴールを早く決めるのは私も問題だと思っている」と応じ、「総理が会見の場を設けていることは、国民に安心してもらえぬ制度を作らなければならない」という認識の現れ。与党ふくめて議論は避けて通れない」と、国民の不安に配慮が必要であるとの認識を示した。

柳本議員は、医療DXの政府方針は進めていくべきとし、「事務作業は効率化が求められる。事務手続きの部分では効率化・IT化・医療DXで改善を図れる部分があると考えている」との立場を示した。

小澤理事長から「私もIT化、DXがだめだと言っているわけではない。現状では、効率化できるのならばいいが、そうはなっていない。トラブルの唯一の改善策は、今の保険証を残すことだと考えている。国会ではどうか尽力をお願いしたい」と協力を求めた。

身近な点数解説「大変有用」

社保講習会開催

7月22日、社保研究部は「算定すればいいですか?」保険診療のアップデート」と題し社保講習会を開催した。

吉田裕志、小山賢一両社保研究部員が講師を務め、82人が参加した。咬合調整や除去をはじめめとめる診療報酬改定についての考え方や、算定方法が変わった項目を中心に解説をした。算定忘れが多い、初期の根面う

蝕患者に対するフッ化物歯面塗布処置の外来患者の適用拡大や、機械的歯面清掃処置の毎月算定できる対象などについても解説した。

質疑応答では、歯周病安定期治療(SPT)管理中の検査の間隔やSPT管理中の歯周外科についてなどの質問が複数寄せられ、講師が丁寧に解説した。

春夏秋冬

台風7号後の夢洲を検証せよ 府民のくらし密着・防災へ安全型の府政へ

15日をピークに台風7号が近畿、東海、中国、四国などに接近、暴風雨による深刻な被害を各地にもたらした。4府県で計8人が重傷を負い、鉄道や高速道路など交通機関にも大きく影響した。大阪府内南部を中心に2万3千710軒の停電が、関西電力によって確認されている。先生方が被災されていないか、お盆明けに診療所の機器類に不具合がないか、心配である。被災した先生方がおられれば心からお見舞い申し上げます。

2029年に開業を予定されているカシノを含む統合型リゾート(IR)。様々な問題が噴出し、防災という点にしばられたばかりで、

も、開催を改めて見直すべきだ。14日夜から15日、夢洲と同じ人工島である関西空港に6500人が孤立した。備蓄されていた寝袋、水の支給があったというが、年間来場者数2000万人を想定したIRにその対応は可能なのか。液状化、恒常的な地盤沈下。今回の台風7号のあと、夢洲で何が起ころうか、今一度検証する必要があるだろう。もともと大阪の防災は遅れている。大阪府が管理する河川のうち、改修が必要な護岸が約80%ある。2011年から改修を始めているが、現在、改修を終えているのは3割程度である。土砂災害対策が必要な溪流や急傾斜地も府内に1000か所以上あるが、改修に着手できていないところはまだある。府内の上下水道のうち、40年以上前に設置された老朽管が3分の1を占め、これは全国最悪の老朽化率である。大阪府はIR開催地の土地改良費に790億円を投入するが、大阪府の河川改修事業費は2007年23億円、2022年度はさらに減額し14億円だ。優先順位が間違っていないか。災害は台風だけではない。



参加者は「週明けから算定できる身近な点数の解説だったので、大変有用だと感じた」などの感想が寄せられた。

ここからはじまる、防災。

保険医が選んだ本当に必要な防災セット

PRAKTIKER

プラクティカ

2023.9 debut

今後、高い確率で発生するとされている南海トラフ大地震や各地での災害時に備えるため、以前より会員ニーズの高かった防災グッズを、会員・組合員の「声」に基づきオリジナルで開発。「ここからはじまる、防災。」をコンセプトに、防災士の資格を持つ事務局が担当し、こだわり抜いた防災セットが誕生しました。会員・組合員の先生方はもちろん、医院のスタッフの方や、ご家族の方にもぜひご準備ください。

初回限定500セットの販売となります。

大阪府保険医協同組合
Tel.06-6568-2741/Fax.0120-562-038
担当: 沖田(おきた)・廣川(ひろかわ)・寺内(てらうち)

9月15日送付の『月刊 保団連』にパンフレットを同封しております。詳しくはそちらをご覧ください。